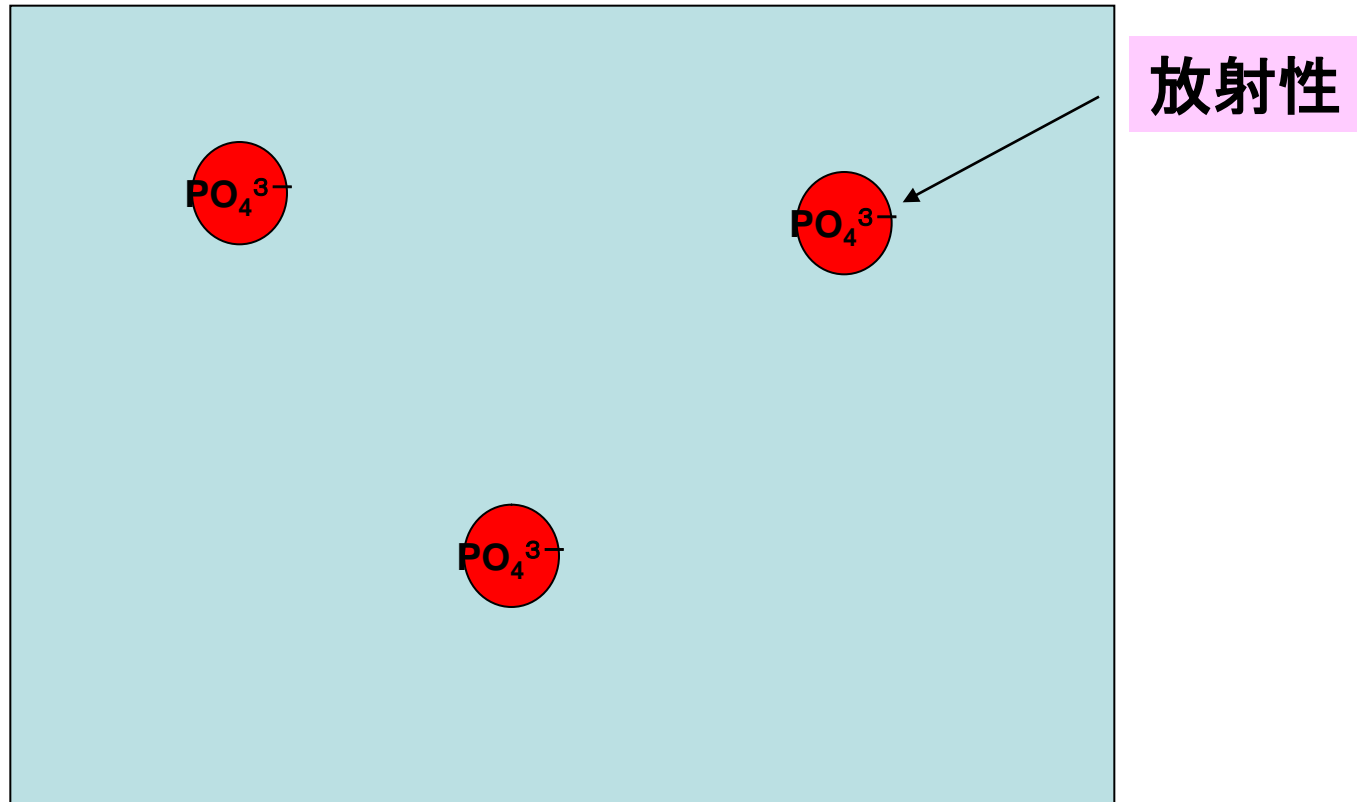


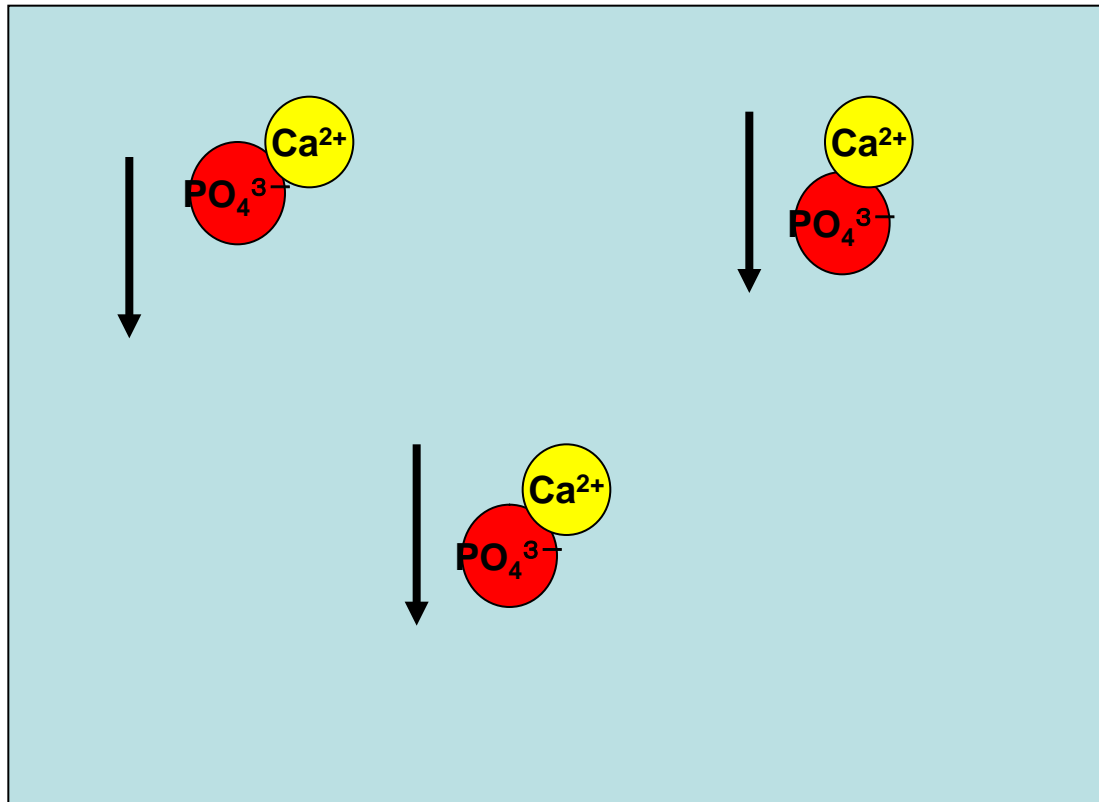
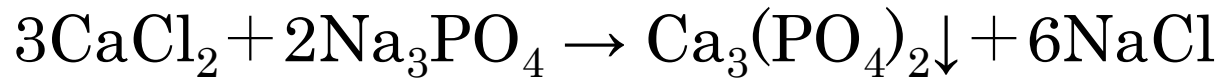
共沈法による水中の $^{32}\text{PO}_4^{3-}$ の 除去

水溶液中にイオンとして解離している $^{32}\text{PO}_4^{3-}$ の除去方法



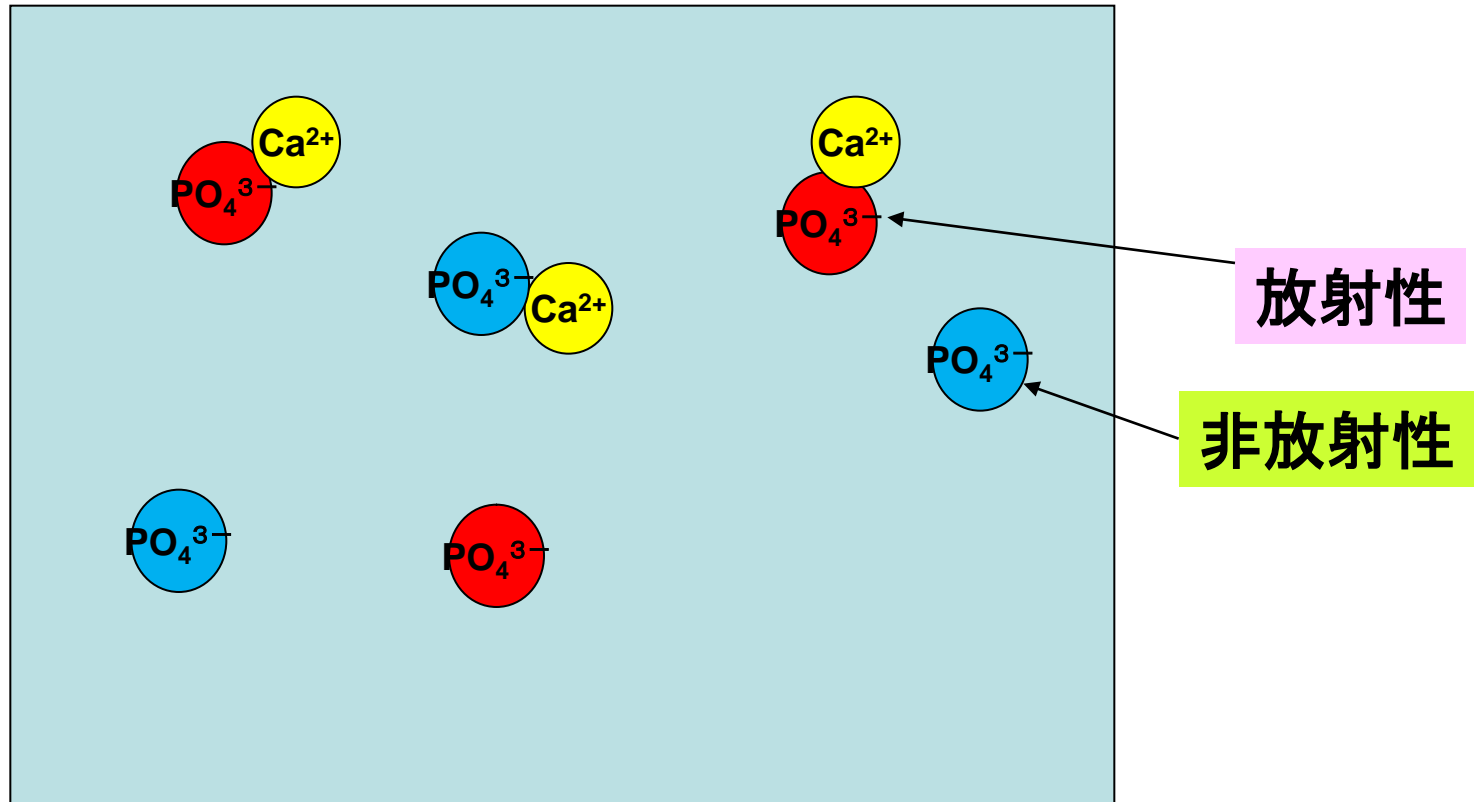
解離 $^{32}\text{PO}_4^{3-}$ イオンの共沈

Na_3PO_4 溶液に CaCl_2 溶液を加えると $\text{Ca}_3(\text{PO}_4)_2\downarrow$ の沈殿が生ずる



水溶液中の $^{32}\text{PO}_4^{3-}$ イオンの除去率

- 非放射性的の Na_3PO_4 溶液を担体として加え、放射性 $^{32}\text{PO}_4^{3-}$ と競合して $\text{Ca}_3(\text{PO}_4)_2\downarrow$ を沈殿させる
- 加える非放射性的の Na_3PO_4 溶液の量を変化させ、共沈した沈殿の放射能の変化を測定する



はじめに

- 1. GM計数装置のウォーミングアップ
電圧:使用電圧 時間:10分
使用GM計数装置は№3~№12
- 2. 試料皿及びスピッツ管に
班の番号および試料皿の番号を書く
スピッツ管と試料皿は同じ番号

例 ①-1

班番号

- 3. 廃棄物用ポリ袋に核種と日付および種類を書く
 ^{32}P H27/10/27 難燃物
不燃物

チップ・スピッツ管
ゴム手袋

4. 作業分担を決める

- **ゴム手袋をつけ非密封RIを扱う人**

試料溶液瓶とピペッターのみ

他のものに触れる場合はGMサーベイメータで汚染検査し汚染がないことを確認する

除洗作業

- **補助者**

ピンセットで試料皿を扱う

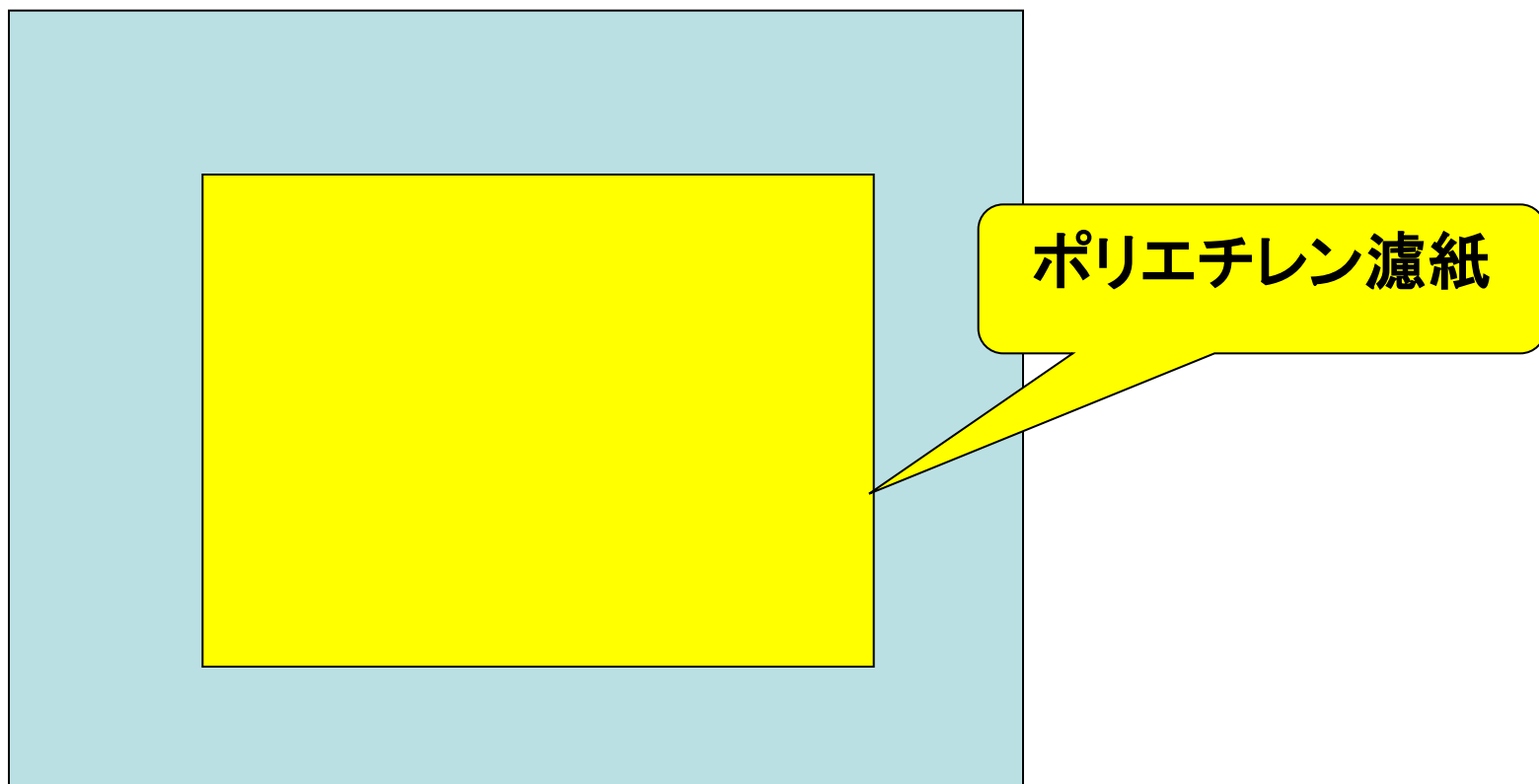
チップを廃棄用ポリ袋に廃棄する補助

試料皿の線源の運搬

乾燥した試料皿の測定

作業台やRI取扱者や使用器具の汚染検査

5. バットにポリエチレン濾紙を敷き、 その上で作業



バット

遠心管



液体試薬



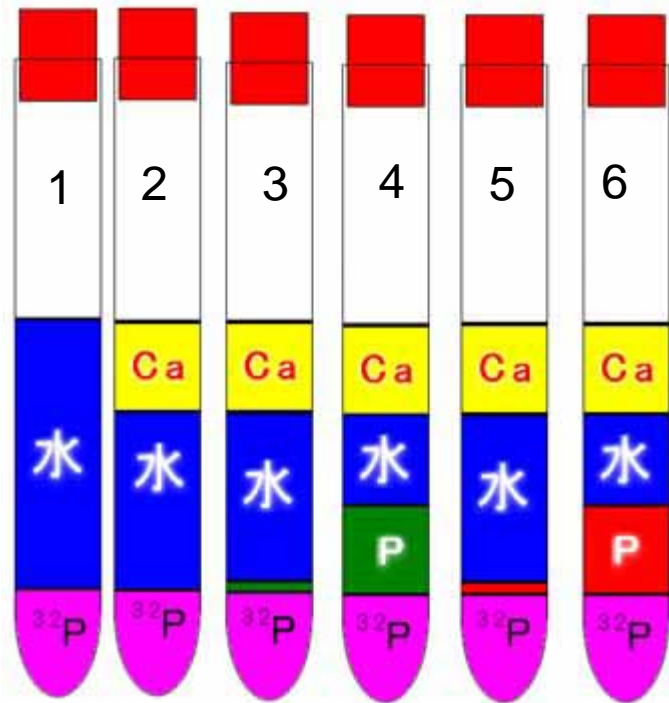
CaCl_2

Na_3PO_4
10mg/l

Na_3PO_4
0.1mg/l

試料の準備

混合する各溶液量 (ml)



	Na ₃ ³² PO ₄ 担体(ml)		水 (ml)	Ca (ml)	H ₃ ³² PO ₄ (ml)
	0.1 (mg/ml)	10 (mg/ml)			
1	0	0	3	0	1
2	0	0	2	1	1
3	0.1	0	1.9	1	1
4	1	0	1	1	1
5	0	0.1	1.9	1	1
6	0	1	1	1	1

試薬の混合順

汚染のリスクを最小限とするために以下の順に試薬を混合すること

1. 水
2. 担体
3. ^{32}P
4. CaCl_2

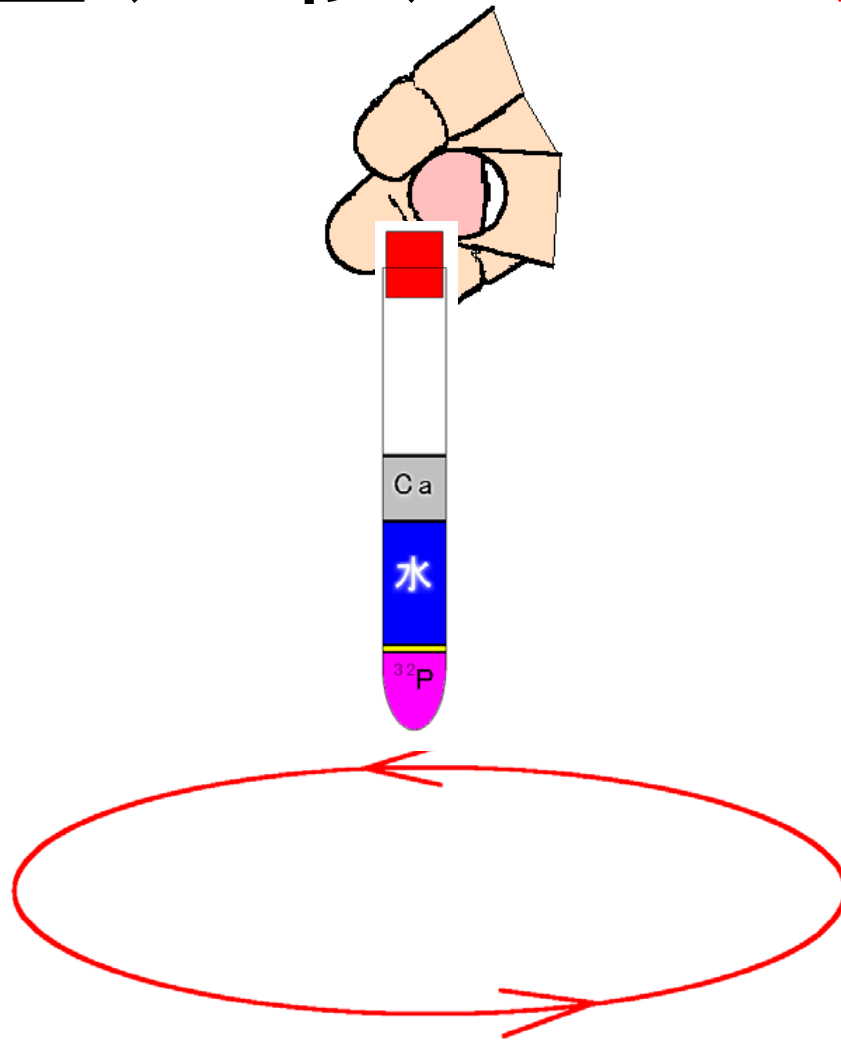
その他

- 水はビーカーに蒸留水から必要量採取
- 溶液によってチップを替える(濃度に大きな差があるので必ず替える)
- 汚染されていないチップは一般のゴミ箱に捨てる

しっかり蓋をする



振盪 (30秒) 上下に振らない



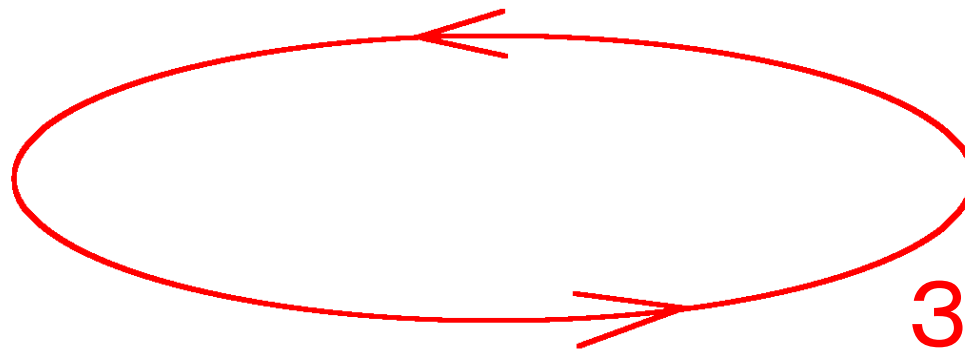
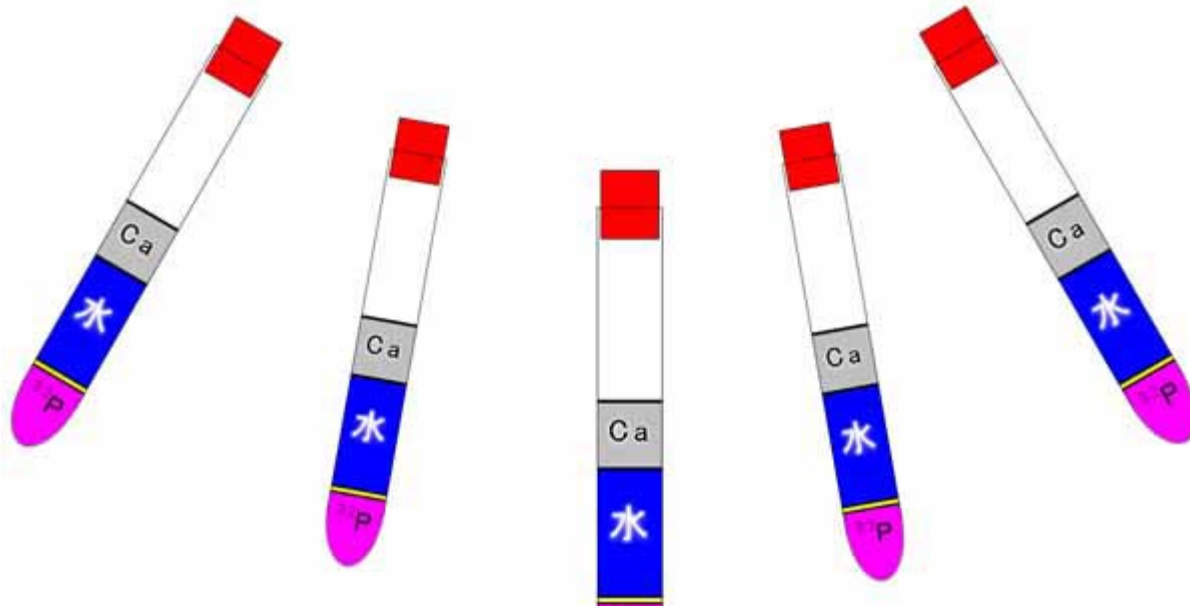
しっかり蓋をししないと汚染がおこる

遠心分離機に遠心管を入れる



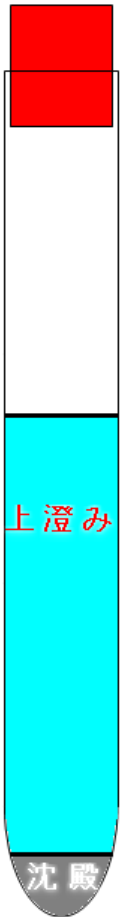
対称になるように入れる

遠心分離(10分間)

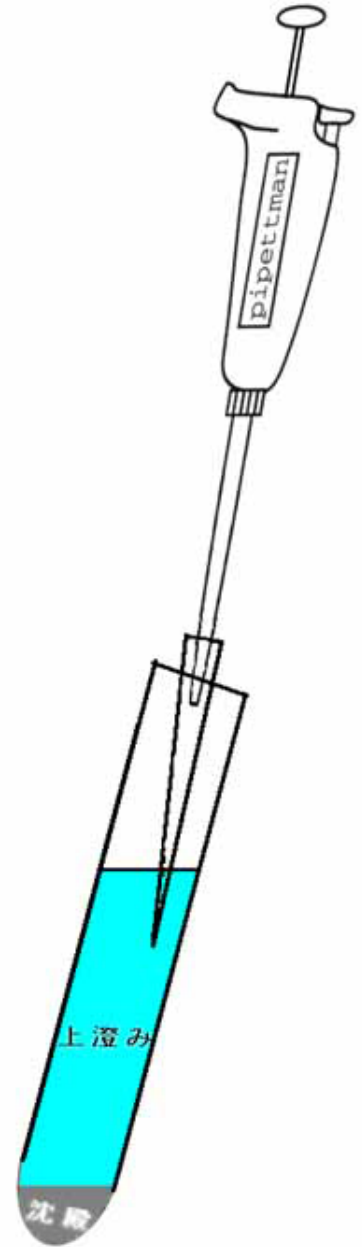
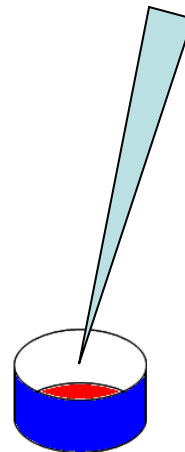


3000rpm

上清を1mlサンプリング



- 遠心分離機から取り出すときは沈殿を舞い上がらせない。
- 沈殿を吸い込まないように注意



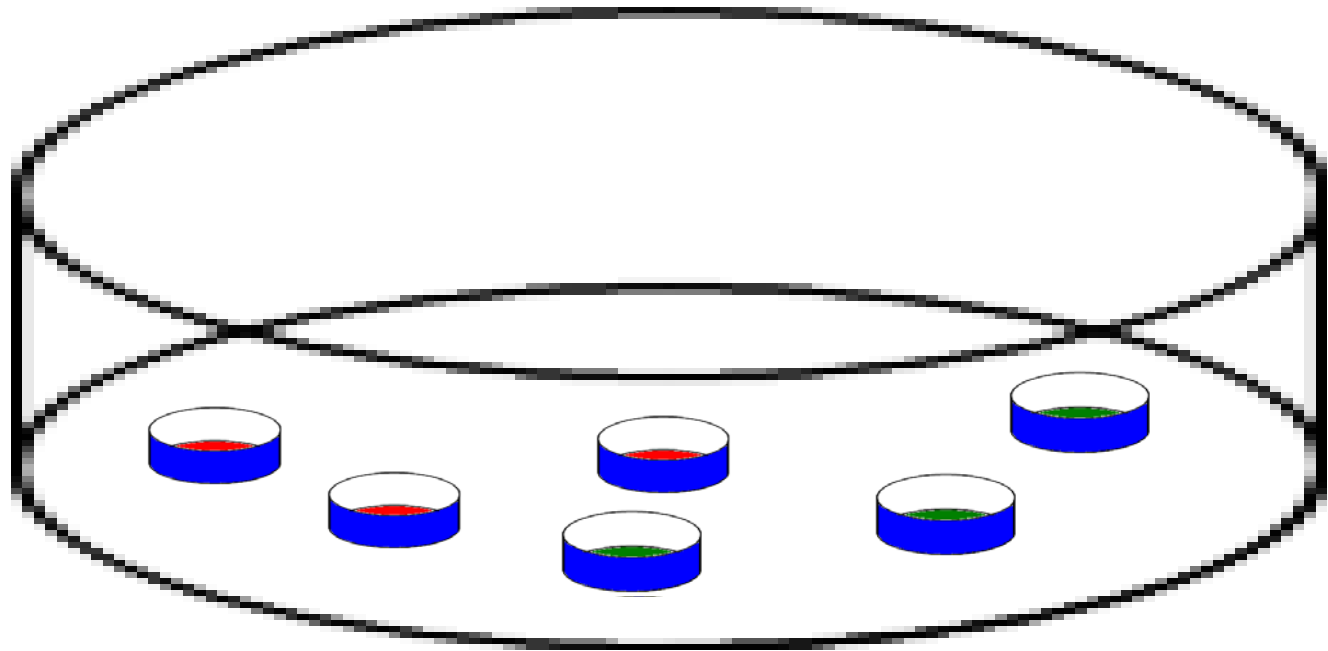


ピペッタ-本体を
スピッツ管に入れない
チップの部分だけ入れる



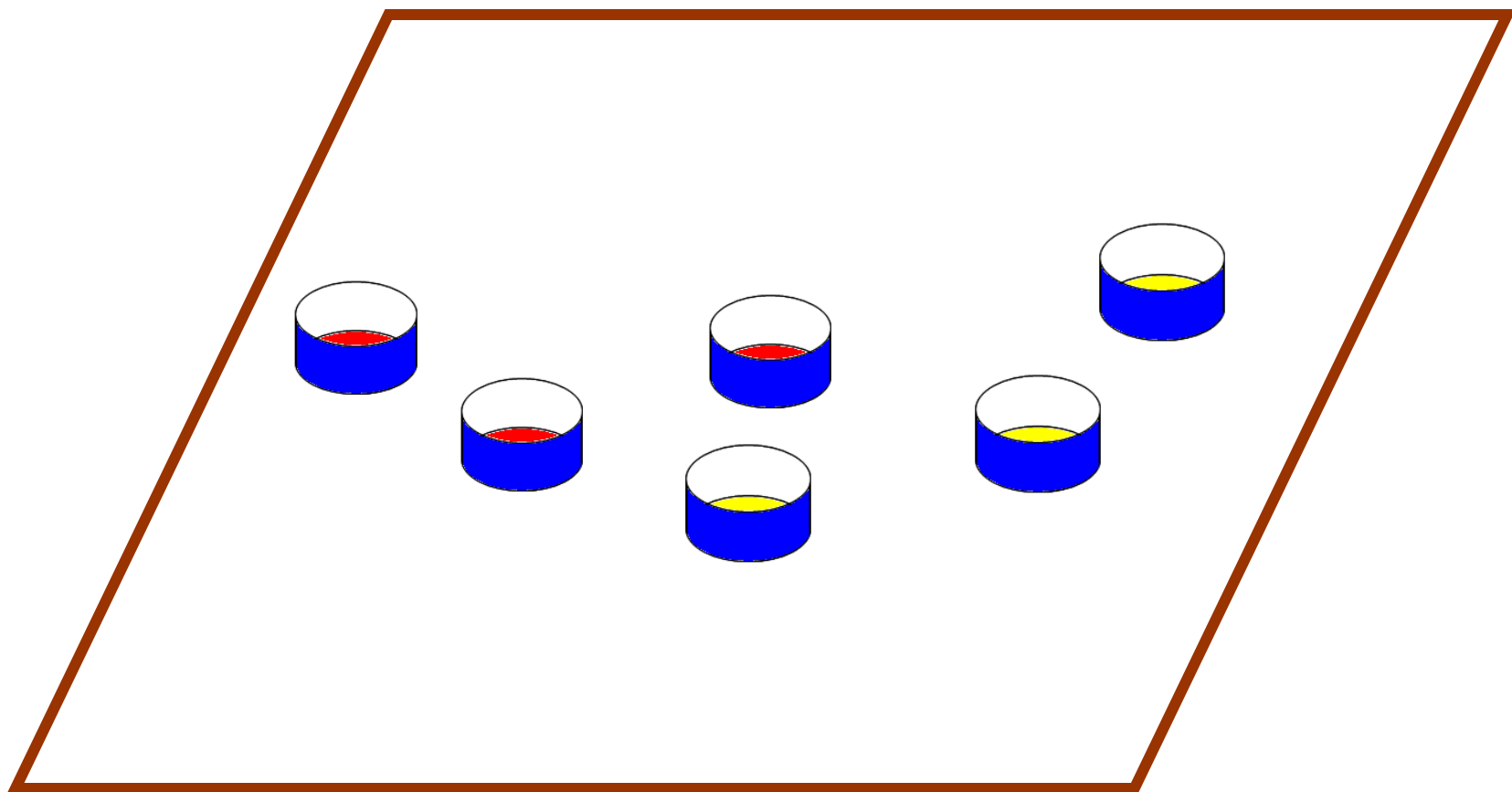
遠心管毎にチップを替える

試料皿をシャーレに入れ運ぶ



試料皿はピンセットで扱い汚染部に触れない

試料皿をウォーマーで乾燥



試料をGM計数装置で測定

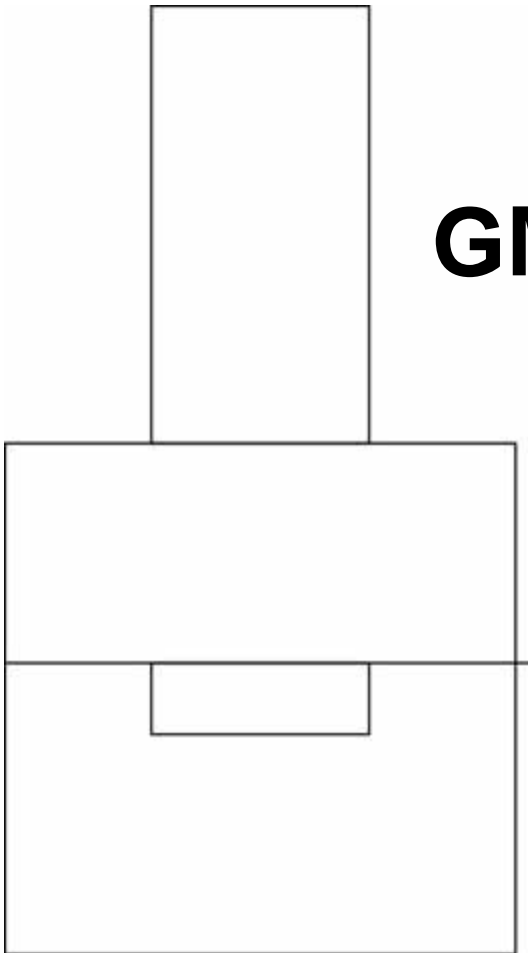
計数時間: 計数が10000c
又は5分間

GM計数管

3000cpm程度の
棚位置

他の試料も同じ棚位置で測定

使用するピンセットは測定室のもの



廃液容器



青蓋の50mlの遠心管にピペット操作で廃液を移す

廃棄物の回収



後始末

- 使用したビーカーは水切りかごに戻す
- 使用した試料皿を用意した不燃物用ポリ袋に入れ封をする
- 使用したチップも同様に用意した難燃物用ポリ袋に入れ封をする
- 汚染検査
- 汚染を発見した場合は教員に連絡すると共に除洗する

汚染検査

- 使用したゴム手袋
- 使用したバットの中
- 運搬用シャーレの中
- 使用したピンセット
- 実験台
- GM計数装置

試料皿のホルダーを入れ5分間BG測定

汚染検査

- RI実験室から持ち出すものは
汚染検査を行う
- 全員手洗いしハンドフットクローズモニター
で汚染検査

誤差の伝搬

統計誤差

計数N

$$N \pm \sqrt{N}$$

計数率

$$\frac{N}{t} \pm \sqrt{\frac{N}{t^2}}$$

誤差の伝搬

$$(A \pm a) \pm (B \pm b) = (A \pm B) \pm \sqrt{a^2 + b^2}$$

誤差の伝搬

$$(A \pm a) \times (B \pm b) = A \times B \pm A \times B \sqrt{\left(\frac{a}{A}\right)^2 + \left(\frac{b}{B}\right)^2}$$

$$(A \pm a) \div (B \pm b) = \frac{A}{B} \pm \frac{A}{B} \sqrt{\left(\frac{a}{A}\right)^2 + \left(\frac{b}{B}\right)^2}$$

正味の計数率と誤差

$$\frac{N}{t} - \frac{N_b}{t_b} \pm \sqrt{\frac{N}{t^2} + \frac{N_b}{t_b^2}}$$

水中残存率

$$\left(\left(\frac{N}{t} - \frac{N_b}{t_b} \right) \pm \sqrt{\frac{N}{t^2} + \frac{N_b}{t_b^2}} \right) / \left(\left(\frac{N_s}{t_s} - \frac{N_b}{t_b} \right) \pm \sqrt{\frac{N_s}{t_s^2} + \frac{N_b}{t_b^2}} \right)$$

水中殘存率

$$\text{水中殘存率} = \frac{\text{水中殘存量}(cpm)}{\text{標準資料值}(cpm)} \times 100(\%)$$

$$\frac{\left(\left(\frac{N}{t} - \frac{N_b}{t_b} \right) \pm \sqrt{\frac{N}{t^2} + \frac{N_b}{t_b^2}} \right)}{\left(\left(\frac{N_s}{t_s} - \frac{N_b}{t_b} \right) \pm \sqrt{\frac{N_s}{t_s^2} + \frac{N_b}{t_b^2}} \right)}$$

$$= \frac{\left(\frac{N}{t} - \frac{N_b}{t_b} \right)}{\left(\frac{N_s}{t_s} - \frac{N_b}{t_b} \right)} \pm \frac{\left(\frac{N}{t} - \frac{N_b}{t_b} \right)}{\left(\frac{N_s}{t_s} - \frac{N_b}{t_b} \right)} \sqrt{\frac{\frac{N}{t^2} + \frac{N_b}{t_b^2}}{\left(\frac{N}{t} - \frac{N_b}{t_b} \right)^2} + \frac{\frac{N_s}{t_s^2} + \frac{N_b}{t_b^2}}{\left(\frac{N_s}{t_s} - \frac{N_b}{t_b} \right)^2}}$$